

JENESYS2021 日ラオス・オンライン交流 (都市開発交流) の記録

1. 概要

【目的】ラオスの青年が、日本のリサイクルや公共交通に関する取り組みについて理解を深めると共に、その学びや気づきを SNS で発信してもらうことで、ラオスにおける対外発信の強化を図ることを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】ラオスの高校生、専門学校生、大学生・大学院生、社会人、行政官等 計 47 名

【訪問地】埼玉県、東京都、沖縄県、長野県

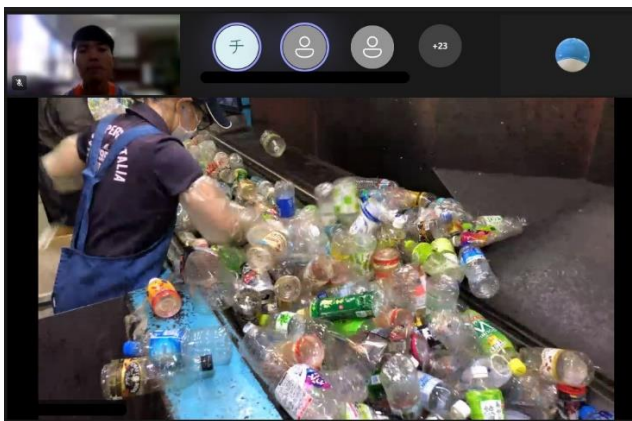
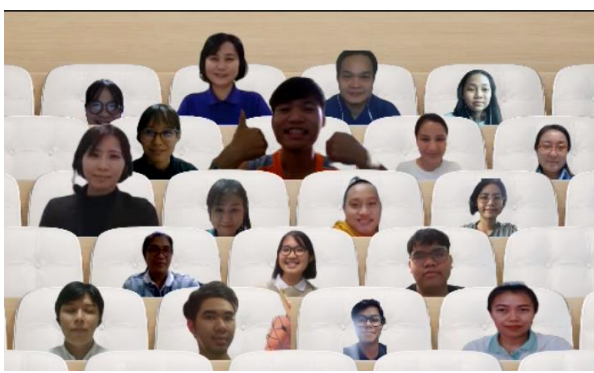
【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下 2 日間の参加人数：31 名		
2021 年 10 月 13 日 埼玉県	【視察・質疑応答】 ジャパンビバレッジ 飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザ JB」 講義 「日本の自動販売機について」 1. リサイクル・プラザ JB の概要説明 2. リサイクル・プラザ JB 工場見学 3. 補足説明・質疑応答	講義と工場見学を行いました。質疑応答では、なぜ私たちはリサイクルをする必要があるのか、リサイクルをしないことでどんなメリット（デメリット）があるのか、日本国内で発生したごみだけをリサイクルしているのか、工場を立ち上げた理由などの質問がありました。ラオスでは、労働者が換金可能なごみを回収し、リサイクル業者に非常に安く買い取られる現状があることから、今後ごみの価値が高くなるように日本に援助してほしいなどの声もありました。
2021 年 12 月 11 日 埼玉県	【ウェビナー・質疑応答】 1. 講義 「見える化と人間力による交通まちづくりの取り組み」 講師：イーグルバス株式会社 取締役 谷島 賢氏 2. 質疑応答	環境問題を考慮して電気バスが導入されたのか、新型コロナウイルス感染症感染拡大によりどのような影響を受けたか等、質問が多数ありました。また、同社が関わっているビエンチャンバス公社とのプロジェクトに関する質問もありました。
以下 6 日間の参加人数：16 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		

2022 年 2 月 10 日 ～	【動画視聴】 1. ホームビジット体験 2. 南三陸町からのメッセージ 3. 白馬の環境への取り組み	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022 年 2 月 16 日 東京都	【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】 1. オリエンテーション（グループ別） 2. 講義・質疑応答 「日本の魅力」 講師：千葉大学国際未来教育基幹 教授 織田 雄一氏 3. ラオスの JDS 留学生*のプレゼンテーション 「日本生活紹介」 広島大学 ニアヴーイエワン氏 4. グループ別交流 * 人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship：通称 JDS）：政府の「留学生受入 10 万人計画」の下、実施されている無償資金協力による留学生受入事業。	講義では、地理、文化、宗教、教育、先端技術などの日本の基本情報を中心に紹介しました。参加者からは、「中高の教育制度の違い」「家庭での教育」「日本の英語教育」等、日本の教育制度について多くの質問がありました。ラオスの JDS*留学生のプレゼンテーションは、自己紹介から始まり、日本での生活体験や印象、JDS 生とのイベントなど日本での生活を紹介していただきました。最後にグループに分かれ、最終報告会に向けての役割決めを行いました。
2022 年 2 月 17 日 沖縄県読谷村	【ホームビジット、交流】 訪問先：沖縄県読谷村 1. 読谷村の紹介 2. バーチャルシュノーケリング 3. ホームビジット体験、交流 4. 写真撮影	内陸国であるラオスの参加者は、シュノーケリングの動画を観た際、海の中の生き物を見て感動していました。また、環境を守るため海岸で毎月ゴミを拾う活動があることを知り、関心を持ったようでした。ホームビジットでは、沖縄の伝統衣装や沖縄料理等の紹介に興味津々の様子でした。またラオスの参加者は自宅の様子を紹介する等して、積極的に交流をしていました。お互いに実際に訪れることができた場合、どのようなお土産が喜ばれるか質問し合っているグループもありました。
2022 年 2 月 18 日 長野県白馬村	【自治体訪問、交流】 訪問先：長野県白馬村 1. 白馬村のスキー場からの中継、滑走体験 2. 白馬村の概要、白馬村の農業と観光についての紹介	参加者はスキー場からの中継に驚き、また観光業や農業についての紹介に対しては、熱帯の国ラオスとは気候的背景が異なるため、興味深く捉えていた様子でした。「夏の観光について」「民宿に宿泊する時のルールについて」「雪の中での野菜の収穫は

	3. 質疑応答 4. 写真撮影	重労働ですがコストがかかるのでは？」等多くの質問がありました。
2022 年 2 月 21 日 東京都	【ワークショップ】 1. プログラムの振り返り 2. アクション・プラン策定、発表準備	プログラム全体を通しての学びから、グループに分かれてアクション・プランを策定し、報告会に向けて発表の準備を行いました。
2022 年 2 月 22 日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	プログラム後 3 か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。

2. 記録写真

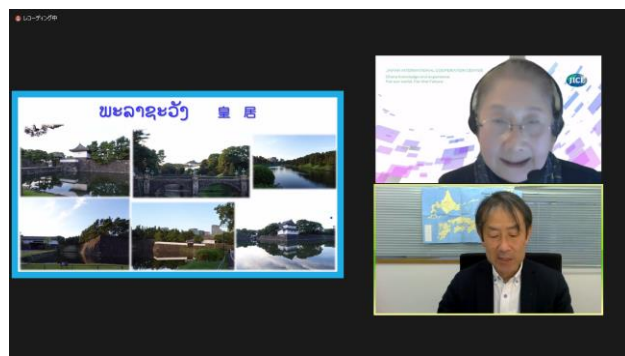
	
2021 年 10 月 13 日【視察・質疑応答】ジャパンビバレッジのリサイクル工程についての講義	2021 年 10 月 13 日【視察・質疑応答】工場における実際の工程を中継する様子
	
2021 年 10 月 13 日【視察・質疑応答】リサイクルのメリットとデメリットについての質問に答える講師	2021 年 10 月 13 日【視察・質疑応答】活発な質疑応答の後、記念撮影を行う様子



2021 年 12 月 11 日【ウェビナー・質疑応答】
講義の様子



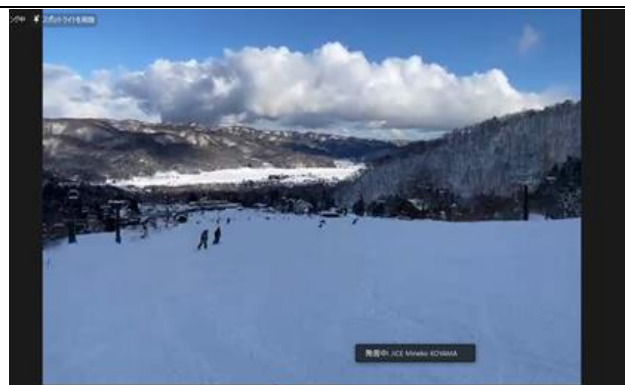
2021 年 12 月 11 日【ウェビナー・質疑応答】集
合写真



2022 年 2 月 16 日【ウェビナー・質疑応答】講
義の様子



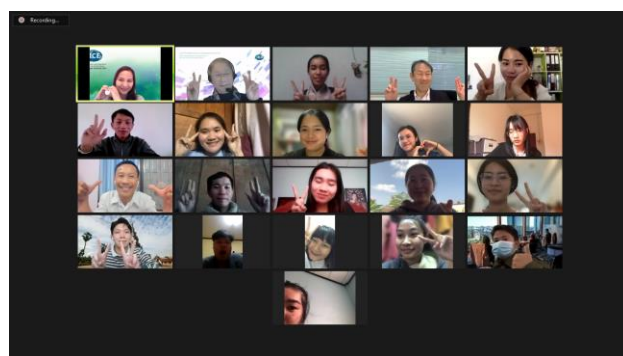
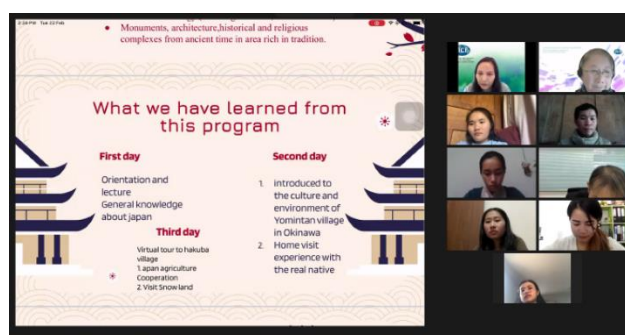
2022 年 2 月 17 日【ホームビジット、交流】読
谷村の紹介



2022 年 2 月 18 日【自治体訪問、交流】白馬村
でのスキー体験



2022 年 2 月 18 日【自治体訪問、交流】白馬村
の付加価値の高い農業の紹介



3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加社会人

JICE がこのような機会を与えてくれ、今回のプログラムに参加することができて嬉しかったです。

◆ 参加大学生

明確でわかりやすい資料が共有され、写真や図表を通して理解を深めることができました。また、様々な統計にも関心を持ちました。講師も、とても優しく丁寧に語りかけてくれ、講義を楽しむことができました。

◆ 参加社会人

バス乗客数の減少という課題に対し、公共バス利用者数を再度増やす手法を学びました。

◆ 参加大学生

今まで知らなかった日本人の体験（企業の取り組み）を聞いて、今までよりももっと日本について知りたいと思いました。

参加高校生

とても充実したプログラムで、多くの新しいことを学ぶことができました。これからも多くの長期プログラムに参加し、さらに多くの知識を得たいです。メンバーの中には SNS 投稿に抵抗がある方もいて、どのようにして日本のことを広めるか課題が残りました。

◆ 参加高校生

早く日本に行きたいと思いました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

準備段階から、ラオスについてさまざまな文化や歴史などの情報を受け入れ家庭のみなさんと共有することで、今まで意識してこなかったラオスに関する現在の情報も得ることができました。受け入れ家庭の親族がラオスに滞在していた話にもつながり、国際交流の良いきっかけをいただけました。オンライン交流時もラオスの参加者から、積極的に自国の食べ物や建築などの紹介もいただきました。

5. 参加者の対外発信



It was a brilliant experience during the meeting, throughout the meeting I have learn a lot more about the Japan public transport. Before in my point of view I have thought that public transport of Japan is great, most of population in Japan can comfortably use it without bother by gender or age. But after join the meeting I visible the problem they face and what is there solution, make me impressed even more how they put effort and emphasis on this matter. Lastly I'm very thankful and feel honored to join the meeting ... See More



2021 年 12 月 11 日 (Facebook)

バスについて、様々な情報・知識を共有いただき有難うございました。日本ではバスの利用者が減少していること、その課題解決法を模索していることも知りました。皆さん、ラオスでお会いしましょう。

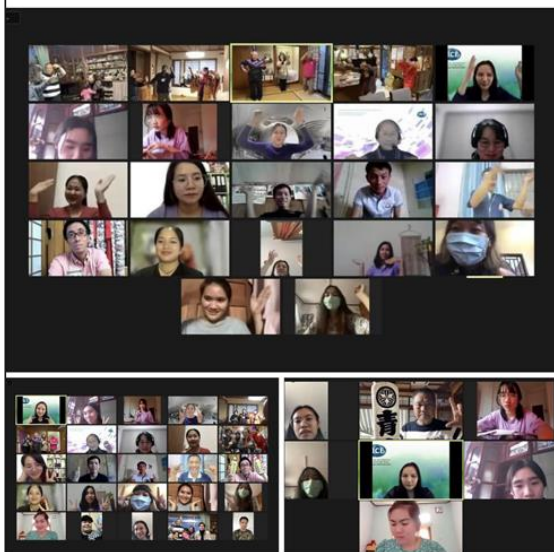
2021 年 12 月 11 日 (Facebook)

素晴らしい経験でした。日本の公共交通機関について多くのことを学びました。私は、日本の公共交通機関は素晴らしいと思っていました。日本国民の多くは、性別や年齢を気にせずに快適に利用できるからです。しかし、プログラムに参加した後、日本が直面している問題とそれらの解決策を目にし、この問題にどのように取り組み、力を注いでいるかということが印象に残りました。最後に、プログラムに参加できたことを光栄に思います。感謝しています。

Day 2 🇺🇹🇯🇵

[Jenesys exchange program online]

Today I have learned a lot of things from Yomitan Village tour, Okinawa and Virtual... ดูเพิ่มเติม



ちゅらむら読谷

2月18日 · 🌐

はいさーい ! 🇺🇹🇯🇵 !

なんと今回は対日理解促進交流プログラムにて、
ラオス🇻🇲の高校・大学生の皆さんと交流機会を持ちました
よ〜! 🌟🌍

次は必ず沖縄で会いましょう ! 🇺🇹✈️

... もっと見る



2022 年 2 月 17 日 (Facebook)

2 日目 (JENESYS オンライン交流プログラム)

今日は、沖縄県読谷村にバーチャルホームビジット体験をして多くのことを学びました。

沖縄の海は、ラオスでは見たこともないような
いくつもの動物がいて、豪華でした。

海を見た後は、スタッフの方が読谷村にオンラインで連れて行ってくださり、地元の生活を紹介していただきました。私たちが訪ねた家庭の方は、そこでの生活を丁寧に惜しみなく紹介していただき共有することができました。

2 日目のプログラムで私が印象に残ったことです。

－ 水中動物の保護

－ ハウスデコレーションは、日本文化に直接触れることができると感じ、とても興味深かったです。

その後のグループ別交流では、自分たちが学んだことを共有し、他の人の考えを知ることができました。

プログラム 3 日目もより多くの知識を得ることを願っています。

では、またお会いしましょう !

2022 年 2 月 18 日 (Facebook)

はいさーい !

なんと今回は対日理解促進交流プログラムにて、
ラオスの高校・大学生の皆さんと交流機会を持ちましたよ〜 !

次は必ず沖縄で会いましょう !

JICE の皆様、読谷村とラオスの国際交流機会を
頂きありがとうございます。

合計 3 時間に渡るステキな交流の様子をいくつか投稿を分けてお届けします !



2022 年 2 月 20 日 (Facebook)

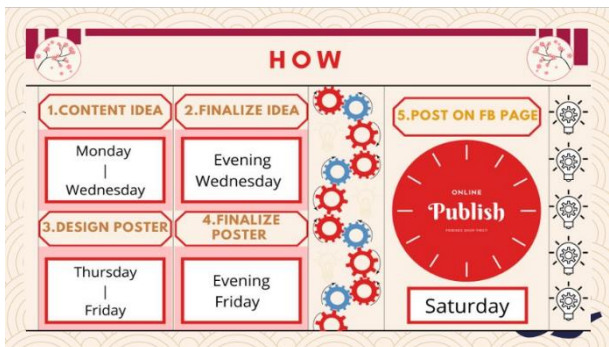
プログラム 3 日目

今日のプログラムが始まった時も興奮して感動しました。冬の白馬の観光村に連れて行っていただき、雪上のスキー講座のライブ中継を見ました。観光事業は、この町の主要な収入源です。経済の大半は観光産業に支えられています。スキーは冬のアクティビティとして最も人気があります。夏の気温が高い時期は、ホテル、レストラン、スキー場、山小屋、温泉などの異なるタイプのアクティビティが用意されています。

白馬市は人口の少ない市ですが、日本最大の山小屋があり、500 の住居があります。農業分野では、夏は米とりんごを栽培し、冬はキャベツ、ニンジンなど他の野菜を栽培します。収穫や植え付けをするトラクターや殺虫剤は、すべて時間やお金を節約し、生産性を上げるため、また収穫の工程をサポートするために農家で利用しています。さらに、最先端の機械は、大きさ、種類、色、製品品質によって選び使用されます。前述したものは、すべて教育的な体験です。この新しい知識は、プロジェクトで働く方から白馬村の観光と農業産業の開発に関するプレゼンテーションで聞きました。

プログラムの最後にグループで、プログラムの内容、印象などについて考え意見を述べます。また、今後の作業について意見交換をして、計画を立てます。できるだけ早くこのプロジェクトに参加できる準備を整えたいです。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

グループ 1	
 	日本についての情報発信のハイライト ■ 実施理由：日本文化や観光に関する知識、またその他日本の特徴についてグループメンバーのコミュニティで紹介する ■ 実施時期：2022 年 2 月 28 日より ■ 実施する者：グループメンバー全員 ■ ターゲット：グループメンバーの友人、職場 ■ 実施内容： - Facebook ページにて週に 2 つ投稿する - 期間：3 か月間もしくはそれ以上 ■ 実施方法 - 月～水曜日：コンテンツのアイデア出し - 水曜日夕方：コンテンツ決定 - 木・金曜日：グラフィックを作成する（ポスターデザイン） - 金曜日夕方：ポスター完成 - 土曜日：Facebook に投稿
グループ 2	
 	■ 実施理由：主に、ラオスの人々が日本文化を学び、体験し、触れ合うことができるようになるため ■ ターゲット： - ラオスの人々 - SNS ■ 実施する者：グループメンバー ■ 実施方法：Facebook に投稿（週に 3～4 回）する ■ 実施時期：3 か月間もしくはそれ以上

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)